

令和3年度 第2回長野市総合教育会議 議事録（要旨）

1 日 時 令和3年11月24日（水） 午後3時30分～午後5時

2 会 場 長野市役所第一庁舎5階 庁議室

3 次 第

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 報告事項

① 長野市のいじめの現状と現在の取組について

② GIGAスクール構想について

③ 学校における新型コロナウイルス感染症の対応について

(4) 協議事項

① 第三次長野市教育振興基本計画について

(5) 閉会

4 出席者

○荻原健司市長

○長野市教育委員会

丸山陽一教育長、近藤守教育長職務代理者、倉石和明委員、塚田まゆり委員、
茅野理恵委員

○オブザーバー

樋口博副市長

○職員

西澤企画政策部長、樋口教育次長、勝野教育次長、中澤保健福祉部長、日台
こども未来部長、小林文化スポーツ振興部長、上石参事兼学校教育課長、島田秘
書課長ほか関係する市長部局及び教育委員会事務局の職員

5 会議要旨

(1) 開会 進行：西澤企画政策部長

(2) あいさつ

荻原市長：

- ・教育委員の皆様にお集まりいただき、お礼申し上げます。
- ・2回目の総合教育会議の開催、私には、初めての長野市総合教育会議となる。長

野県教育委員を努めていた経験を生かし、長野市の教育を更に発展させたいので、ご協力をお願いします。

- ・今回はじめて、本市のいじめ対策について説明し、今後も取り上げる。
- ・報告事項は、他に「GIGA スクール構想について」と、「学校における新型コロナウイルス感染症の対応について」の説明をする。
- ・協議事項は、「第三次長野市教育振興基本計画」の策定であり、大綱にするため協議をお願いします。
- ・本日は、皆様から忌憚のない意見を頂戴したい。

丸山教育長：

- ・本日は、「総合教育会議」を開催いただき、感謝申し上げます。
- ・市長には、長野県の教育委員を歴任されるなど、教育行政に造詣が深く大変心強く感じている。
- ・小学校で、石碑転倒による事故が起きた。一日も早い回復を願い、お見舞いを申し上げます。再発防止対策には、万全を期するが、報告事項の冒頭で説明を申し上げたい。
- ・市長の挨拶のとおり、社会的にも大きな課題である「いじめ」について、本市の現状と取組をご報告し、認識の共有をお願いしたい。
- ・新型コロナウイルス感染症の第6波到来が懸念される中、感染拡大の際の教育現場での適切な対応について意見を共有し、心構えや準備ができればと考えている。
- ・「GIGA スクール構想」推進の現状や子どもたちへの学習支援について、認識を深めたい。
- ・「第三次長野市教育振興基本計画」については、市長の定める「教育の大綱」となるよう、それぞれの立場から意見等をいただきたい。
- ・本日は、忌憚のない活発な意見交換の場となるようお願いします。

(3) 報告事項

※報告 「小学校における石碑転倒による事故について」

- 1.事故概要
- 2.事故発生後の対応について
- 3.緊急安全点検
- 4.今後の方針（再発防止等）

【意見・質問】

(オブザーバー) 来年度、安全対策のための予算化はしなくて良いのか。

(教育次長) 現地を確認したうえで、対策の必要性の有無を確認し、必要な予算を

検討していく。

(委員) 石碑等は、学校以外にも地域のあらゆる所にある。石碑がそこにある意味や由縁を子どもに理解させた上で、危険意識を高める指導が行き届くようにしてほしい。

①長野市のいじめの現状と現在の取組について

・勝野教育次長から、資料1に基づき説明

説明内容

- 1 いじめの定義
- 2 いじめの「認知件数」推移
- 3 いじめの態様
- 4 いじめの発見のきっかけ
- 5 いじめの未然防止、早期対応、重大事態対応等

【意見交換】

(委員) 本市では、小学校でいじめが増えた。いじめに該当するのではないかということ掘り起こしたということだが、特別な指導をしたのか。

(教育次長) 定義が過去と変わり、しっかり研修等をして認知されてきたという感触がある。

(市長) 昔は、認知されてなかったのか。

(教育次長) 変更後のいじめの定義について繰り返し伝えてきた結果、認知度が高まったと認識している。

(委員) 直接相手に対するものの他、他者支配、承認欲求等での攻撃の形があったりする。未然防止のところでは、学校が安心安全を実感できる場であることが大切。

(委員) 今後、認知した事案について、どのように対応していくのかが問われてくる。

②GIGA スクール構想について

・勝野教育次長から、資料2に基づき説明

説明内容

- 1 到達目標
- 2 教職員の指導力向上
- 3 授業改善
- 4 家庭学習の充実
- 5 持ち帰りに向けた準備
- 6 試行での検討

7 家庭の通信環境

【意見交換】

- (委員) 学校以外でのネット環境についてと、他からの侵入等の周知についてどうか。
- (部長) 放課後子ども総合プランでの施設の環境については、学校の空き教室を使っているプラザは、通信環境も整っている。センターや児童館については、Wi-Fi が大人数では耐えられるような状況ではないため、今後整備していきたいが、できるだけ学校の施設を使わせていただくのがよいと考えている。
- (教育次長) 学校は、セキュリティ上安心な場所ではある。今後、家庭で使うようにするには、外部からの侵入等がないよう検討している。これは全国的な問題でもある。
- (委員) 整備するための国の予算はないのか。目等の健康にも注意することも大切。また、ICT の苦手な教員のフォロー等も考える必要がある。
- (教育次長) 健康面が大切であり、児童生徒が自覚できるよう働きかける。教員の問題については、研修会を増やしたり、オンライン研修も行ったりするなど取り組んでいる。ICT の支援員の増員や、民間の方のボランティアについても調整中である。
- (委員) 通信環境が大切である。義務教育なので、公平に取り扱えることが大切。

③ 学校における新型コロナウイルス感染症の対応について

- ・勝野教育次長から、資料 3 に基づき説明

説明内容

- 1 長野市の学校における基本対応
- 2 第 6 波に備えた対応
- 3 誹謗中傷・差別・いじめ・偏見対応
- 4 心のケア事業

【意見交換】

- (市長) 修学旅行の行先が変更になっているが、変更がよかったのかどうか、県内の地域間で連携してもいいのではないかと、生の声を聞きたい。行先について今後検討いただきたい。
- (教育次長) 県内で学習できるものもある。改めて見直し、検討していきたい。
- (途中「ワクチン接種の話」)
- (委員) 様々な状況にある子に対して丁寧な対応が大事。国立精神成育医療研究セン

ターが子どものストレスの研究発表を行っているが、今大人がとても大変なので、困っている大人に相談しにくいというデータがある。すべての子どもたちを対象に見ていけるような支援というのを大事にしていきたい。

(4) 協議事項

①第三次長野市教育振興基本計画について

- ・樋口教育次長から、資料4に基づき説明

説明内容

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画期間
- 3 計画の位置付け
- 4 計画の策定体制
- 5 基本理念
- 6 本市の教育を取り巻く社会情勢と課題
- 7 第三次計画の主な施策
- 8 今後の予定

【意見交換】

(委員) 第三次長野市教育振興基本計画は、5か年であるが、そこまでの間で達成するものと、種をまいて20年30年を経て育っていくものがある。子どもたちをどのように育てていくのか、どういう人間性になって欲しいか、後の評価となるものなどを、目指す内容に盛り込むと良いと思う。

荻原市長（まとめ）：

- ・いじめに関しては、早期発見と対応が、重要であり、先生の感度をしっかり上げて、早い段階で対応してほしい。
- ・GIGAは、予算面で国への対応等も踏まえ、しっかり確保していきたい。
- ・新型コロナのワクチン対応は、保健所も含めて、しっかり対応できる準備をする。
- ・未来ある子どもたちのために、引き続き委員の皆様からご意見をいただき、しっかり対応していく。